

地区名:黒川地域

お宝認定

～古代神楽～

地域の伝統をつなぐ子どもたちの活躍



静岡県掛川市から昭和27年に伝わったお神楽。当時は青年部で覚えて披露していましたが、仕事などで忙しかった大人に代わり、現在では3年生から6年生の女の子がその大役を担って引き継いでいます。舞は夏と秋の例大祭で2回披露されており、地域の方もとても楽しみにされています。

お神楽がある事で、顔を合わせる機会が増え、子ども同士、親御さん同士のつながりも深まっているようです。

お神楽を教える先生は約50年もの間、子ども達に地域の伝統を伝えてきました。「子どもたちが大きくなって故郷を思い出した時に、お神楽でがんばったことがきっとよみがえると思う。そうになると嬉しい」とおっしゃっていました。

沢山の大人が見守る、神事の張りつめた空気の中で、堂々と舞を踊る姿はとても格好良く、地域に伝わる伝統を守ってきた誇りが伝わってきました。これからも地域の絆で伝統を長く受け継いでいって欲しいと思いました。

【意味付け】文化伝承・地域交流・学び・生きがい・仲間づくり・情報交換・おしゃべり